

2016年7月6日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研 離婚に関する調査2016

- ◆ 離婚を望んでいた割合は男性より女性の方が高く、6割を超える
- ◆ 離婚経験者^(※)と有配偶者^(※※)では、結婚スタート時の経験に違いがあり、「性格を理解してもらうこと」「家族が親しくなること」「親族や友人を知ること」「金銭感覚のすり合わせ」「価値観のすり合わせ」がポイントに。
- ◆ 離婚経験者と比較し、有配偶者は結婚式を実施している割合が高く、結婚式を通じて得られたことについても差がある

※離婚経験者：離婚経験が一度ある現在独身者 ※※有配偶者：初婚同士の既婚者

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋)が運営するブライダル総研では、離婚の実態について調査しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。 **参考資料**：<http://prtimes.jp/a/?f=d10032-20160705-6008.pdf> (一般向け)

<離婚経験者の状況や理由>.....参考資料P3~5

離婚を望んでいた割合は男性よりも女性の方が高く、6割を超える

- 離婚経験者において、離婚当時、自分が離婚を望んでいた割合：男性 29.2%、女性 64.4%。

最も多い離婚理由は「価値観の違い」。男性と比較し女性は「育児の非協力」「借金」「家事の非協力」の割合が高く、差が大きい

- 離婚理由の上位5項目：「価値観の違い」「人生観の違い」「性格の不一致」「金銭感覚の違い」「夫婦の会話がない」。
- 離婚理由で女性の方が高く、男女差が大きい上位3項目：「【相手】育児に協力的でない」「【相手の】借金」「【相手の】家事に協力的でない」。

離婚経験者は有配偶者と比較し、周囲に離婚経験者がいる割合が高い

- 周囲の離婚状況において、自分の周囲に離婚経験者がいる割合：有配偶者 57.7%、離婚経験者 72.2%。

<有配偶者の別居や離婚の可能性>.....参考資料P6

有配偶者のなかで、約5割の人が離婚を考えた経験あり

- 有配偶者において、別居を考えたことがある割合：42.9% (少し考えたことがある 26.0%/本気で考えたことがある 16.9%)。
- 有配偶者において、離婚を考えたことがある割合：47.8% (少し考えたことがある 29.6%/本気で考えたことがある 18.2%)。

<有配偶者と離婚経験者の違い>.....参考資料P7~9

結婚スタート時において、有配偶者の方が「性格を理解してもらうこと」「家族が親しくなること」「親族や友人を知ること」「金銭感覚のすり合わせ」「価値観のすり合わせ」を経験している割合が高い

- 結婚のスタート時にあったこと・深まったことにおいて、離婚経験者と比較し有配偶者の方が高い上位7項目は「自分の性格を理解してもらう」「自分と配偶者の家族が親しくなる」「相手の親族や友人を知る」「二人の金銭感覚をすり合わせる」「配偶者と自分の家族が親しくなる」「自分の親族や友人を知ってもらう」「二人の価値観をすり合わせる」。

有配偶者の方が挙式または披露宴・披露パーティを実施している割合が高い

- 挙式を実施した割合：有配偶者 87.0%、離婚経験者 69.4%。
- 披露宴・披露パーティを実施した割合：有配偶者 81.3%、離婚経験者 63.1%。

挙式において、有配偶者の方が「家族が親しくなる」「二人で何かに取り組む」「大きなお金を使う」「認められたことを知る」「価値観をすり合わせる」といった機会を得ている割合が高い

披露宴・披露パーティにおいて、有配偶者の方が「はじめを感じる」「お互いの親族や友人を知る」「家族が親しくなる」「大きなお金を使う」といった機会を得ている割合が高い

- 挙式を通じて得られた機会において、離婚経験者と比較し有配偶者の方が高い上位5項目は「配偶者と自分の家族が親しくなる」「二人で時間や労力をかけて何かに取り組む」「二人で大きなお金を使う」「周囲に二人が認められたことを知る」「二人の価値観をすり合わせる」。
- 披露宴・披露パーティを通じて得られた機会において、離婚経験者と比較し有配偶者の方が高い上位5項目は「結婚のはじめを感じる」「自分の親族や友人を知ってもらう」「配偶者と自分の家族が親しくなる」「二人で大きなお金を使う」「自分と配偶者の家族が親しくなる」「互いの家族同士が親しくなる」「相手の親族や友人を知る」。

- ◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「離婚に関する調査2016(リクルートブライダル総研 調べ)」と明記いただけますようお願い申し上げます。
- ◆ 「離婚に関する調査2016」の詳細は、弊社『ブライダル総研』サイト(<http://bridal-souken.net/>)より、ダウンロードいただけます。リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/